



わくわく園だより No.10
R5年6月16日(金) 文責: 牧野

人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ

「人間、どう生きるか、どのようにふるまい、どんな気持ちで日々を送ればいいのか、本当に知っていなくてはならないことを、わたしは全部残らず幼稚園で教わった。人生の知恵は大学院という山のとっぺんにあるのではなく、幼稚園の砂場に埋まっていたのである。」というロバート・フルガムのロングセラー本があります。

これを「**人生の必要なことすべてこども園の運動会で学んだ**」と置き換えることができます。集団行動の大切さ、先生の話をしっかり聞く、ルールを守り、ズルをしない、みんなで協力する、負ける悔し

しさ、勝つ喜び、勝者を讃え、敗者を庇うことなど、少しずついろいろなことを経験して、釣り合いの取れた生活を送ることは、幼児期によく気を配られることですが、実は大人になっても、心身ともに健全な生活を送る上でとても大事なことです。運動会は勝った負けただけではないのです。子どもたちは、生涯大切にすべき知恵を運動会の練習を通して身に付けたと思います。



お母さんの不思議な力「赤ちゃんの心の研究者」パプゼク博士は、

母親には「直接的な育児能力」(本能的に子どもを育てる力)があると言っています。お母さんは赤ちゃんが幸せな気持ちで興味が湧くように、明るく優しいリズムや調子を選んであやしたりします。これは知識で教えられるものではなく、幼い頃に愛された体験を基盤に親になると自然に湧いてくる本能的なものです。直接的育児能力は、未開発国ほど豊かに見られ、高度に発達した文明社会の母親は高等教育により、頭でっかちになりダメになるとも警告しています。

戦後のベビーブームに生まれた私たちの世代は、ルンバも全自動洗濯機も電子レンジもなかったので、母がせっせと家事と育児をこなしていたのを覚えています。情報も少なく、子どもの病気も多く、今ほど医療体制が充実していませんでした。熱が出たら、頭を冷やし、抱っこしてひたすら祈るだけでした。反面、直接的育児能力は今より豊かだったかもしれません。

日本は世界最低の乳児死亡率と最高の平均寿命を誇りながら、少子化が急速に進み、少ない分大切に育てられているかと思えば、子どもたちはかつてなく苦しんでいます。いじめ、不登校、自殺。仲間と心ゆくまで遊びながら自然に鍛え合う、幸せな子どもの発達環境が破壊されているのです。しかし、不思議なことに、どんなにひどい心の傷を負い絶望している子どもでも、お母さんが真心をこめてわが子を理解するように抱っこすると、水を得た魚のように蘇るのです。いくら優秀な保育教諭でもお母さんには敵いません。子どもの心を癒すお母さんの不思議な力に、いつも目を見張ります。

クラスのお母さん、雄も雌も一緒になってヒナを守ります。まさに直接的育児能力です。ところで人間の父さんには、「不思議な力はないのかな?」と思います。6月18日(日)は「父の日」です。

運動会は、こども園と保護者・地域が一体となる特別な行事

総練習、4歳の「よ〜い、ドン」で4位になった男の子が言いました。「1等でも運動会楽しいよ。負けても大好きだよ。一生けん命走ったら、先生やお家の人がほめてくれる、最後にぎゅっとだっこしてくれるから。おど日も楽しいよ。にこにこ、きらきら、わくわくだよ!じいちゃんとかばあちゃんも見に来るよ。がんばったら、ごほうびもらえるしね。」運動会は、保護者・地域が一体になる特別な行事です。

「子育て支援」が、国の最重要施策になっています。運動会は、お金のかからない、みんなができる「子育て支援」だと思います。

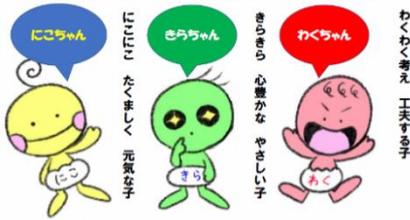


・・・6月19日(月)から6月24日(土)までの予定・・・上のQRコードでHPへGO

- 19日(月) 給食会議
 - 20日(火) 支援センターとの交流(きりん組)職員会議A
 - 21日(水) 「夏至」 定例研修会
 - 22日(木) 6月の誕生会 職員会議B
- * 昼の時間が一番長い季節です。有効に活用しましょう。



熱中症対策～汗をかいていなくても、30分に一度は水分補給しましょう。



わくわく園だより No.11
R5年6月23日(金) 文責: 牧野

運動会 感動しました!

熱中症を心配するくらい30℃近く上昇する予報でしたが、適度に風が吹き、雲もあって、最高のコンディションで運動会を開催することができました。拍手、ご声援をいただきました観客の皆様、そして、お手伝いをいただきました役員の皆さんに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

来賓の方からは、「子どもたちと指導した先生方を褒めてあげてください。」と称賛の言葉をもらいました。また、「うちの子、5歳児じゃないけど、バルーンを見て感動しました。」と感想を寄せてくれた保護者の方がいらっしゃいました。

教員の働き方改革とコロナ対応もあって、学校の運動会が縮小傾向にあります。「学校が何でも背負うことなく、地域や保護者に協力を仰ぎましょう。」という流れになっています。特にこども園は、保護者の協力なしには、運動会はできません。運営面の無駄を省く努力をしなければならないと思っています。27日には、役員さんと反省会を行います。運動会の内容の充実と運営のスリム化に向けて、ご意見を伺い、さらに素晴らしい運動会にしていきたいと思えます。あくまでも子ども主体の運動会でなければなりません。



シリーズ「わくわく子育て」～マンガ「ド根性ガエル」のピョン吉～

「トムとジェリー」の漫画を知っている子はいますが、「ド根性ガエル」は知らないという子がほとんどです。しかし、道徳の教材として優れた作品です。

ひろしが悪いことを思いつくと、Tシャツに貼り付いたカエルのピョン吉が、「ひろし、それはないぜ!」といさめるシーンがよくあります。同じように「トムとジェリー」の漫画でも、天使と悪魔が出てきて、互いにささやくシーンがあります。

自律とは、まさしくこのことで、悪い誘惑にのってしまいそうな自分とそれを止めるもう一人の自分(良心)が葛藤します。“最後は良心が勝る”とよいのですが、子どもは、思いつくまま、気が向くまま、衝動的、短絡的に行動してしまいます。今は自立の基礎を養う時期です。自分を律することができないと自立はできません。自立するとは、大人になるということです。

小学生にもなれば、「何が良くて、何が悪いか」「交通ルールを守りましょう」「左右を確認しましょう」「ヘルメットをかぶりましょう」「そんなこと言われなくても分かっている」と言います。ところがこども園時代には、きちんとできていたことが小学校の高学年ほどルールが守れない。「黄色(信号)だけど、行ってしまえ!」「今日は、暑いし、面倒くさいからヘルメットかぶらない。」と悪い誘惑にすぐのってしまうのです。「そんなことしたら、ダメダメ!」と言ってくれるピョン吉を心の中に持つことが大事です。

自立させようと思ったら、善悪の判断をきちんとつけさせることが大事です。「子どもの自主性を尊重します。」という親がいますが、それは子ども任せにすることではありません。まず「そんなことをしたらダメ!」とピョン吉役をするのが“親”の役目です。子どもは、ぴょん吉を知らなくても親の世代は知っているはずです。

・・・6月26日(月)から6月30日(金)までの予定・・・

- 26日(月) 図書の日
- 27日(火) たてわり保育 運動会反省会(運営協力会) 18時30分
- 28日(水) ケアハウスとの交流(あじさい組) ケース会議
- 29日(木) ケアハウスとの交流(すずらん組)
- 30日(金) 保育公開勉強会(ひまわり組) *レク部のゲーム大会(19日)





わくわく園だより No.12
R5年6月30日(金) 文責: 牧野

○▲○運動会ビフォー・アフター○▼○

教員の働き方改革が一向に進まない状況で、教員希望者の減少、教員不足が社会問題になっています。これまで学校は、何でもかんでも引き受けてきました。たし算の経営で、何かをやらうとすると、何かを削ることをしてきませんでした。

その学校がやっと学校行事にメスを入れました。それが運動会です。多くの学校で種目数を減らし、午前開催になりました。私のようなOBには、お昼のお弁当がない運動会は、何か物足りなさ、寂しさを感じます。

しかし、そうでもない限り、教員の働き方改革は進まない、学校は変わらないのです。

中央教育審議会の特別委員会の議論では、「全て学校が背負うのではなく、地域や保護者に協力を仰ぎなさい。」と言っています。

こども園の先生方は、学校以上に大変かもしれません。例えば、前日準備は、小学校なら、放課後に職員全員で行いますが、こども園はそうはいきません。手の空いている先生数名でやらなければなりません。子どもから目を話すことはできません。練習時の用具の出し入れもひと苦労です。保護者の皆さんの協力なくしてこども園の運動会はできません。



アフターコロナの運動会は、コロナ前には戻らない！

運動会の主役は子どもたちです。種目をこれ以上減らすことはしませんが、運営面で効率よくできるように6月27日の育友会役員の方々と反省会で確認したところです。

《運営面の効率化を図る》 例えば、保護者席をすずらんテープで囲っていますが、あれをするにも結構時間がかかります。昨年まで、ペットボトルに座席番号を表示していましたが、準備と片付けに時間がかかることから、今回はラミネート表示にしました。来年はさらに効率化を図ります。保護者の皆様には、多少ご不便をかけることとなりますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い致します。



「自分は大切にされている」と思えない子が、どうして人を大切にできる？

《ルールやマナーを守れる子にするには》

社会のルールやマナーをきちんと守れる子どもを育てるためには、子どものうちから、悪いことはきちんと叱って、できたら、ちゃんとほめる。そして、大切にされている。その思いで子どもの心は育ちます。

子どものときからきちんと叱ることが大切ですが、むしろ、『大切にされている』と思うことで、子どもの心が育つ」というメッセージが一番のキーポイントになります。

ただ子どもを叱るだけでなく、子どもに「大切にされている」という気持ちを育てることが一番大切です。「大切にされている」と子どもが感じることで、ルールやマナーをきちんと守れることとどう関係するのかをきちんと伝えるべきです。ルールを守れない大人がいるのも、きちんと叱られていないからではなく、むしろ「自分が大切だ」と感じられるように育ててもらってなかったと思うのです。

神戸市で6歳の幼子の遺体がスーツケースの中から見つかりました。こうした悲惨な虐待事件が後を絶ちません。こども園で働く者として心が痛みます。

・・・7月3日(月)から 7月7日(金)までの予定・・・

- 3日(月) こすもす組参観日・懇談会
- 4日(火) たんぽぽ組参観日・懇談会
- 5日(水) 身体測定(3~5歳児)
*七夕飾りを町内の公共施設に飾りに行きます。
- 6日(木) あさがお組参観日・懇談会
- 7日(金) 七夕まつり

*7月1日付けで子ども未来課職員の異動がありました。コドモンでお知らせします。



七夕飾り(願いごと)
制作中です。



わくわく園だより No.13
R5年7月7日(金) 文責: 牧野

育友会レク 6月30日(金)

なぜ解き 難問・珍問に???

- Q1 ももももももももも+ろ+ここここ= (食べ物?)
 Q2 仲間はずれはどれ?
 ラッコ・コーヒー・トイレ・飛行機・まくら
 Q3 カレーうどん⇒A⇒カード ボール⇒B⇒ポール
 かば⇒C⇒かばん ばんそうこう⇒ABC⇒????
 *ヒント~ある法則で変身しています?

- Q4 BとO⇒バンド SとA⇒(?) *アルファベット
 Q5 (1) ベーコン☆☆☆ (2) ○○☆☆☆ (3) ○○△△ (4) △△◆◆—
 (5) ◆◆—ライス ○○◆◆は(?) (食べ物謎解きクイズ)
 Q6 タクシーが入る場所はどこ? ビール (1) アイスクリーム (2) カエル (3) エスカレーター
 (4) ワイン *ヒントは、これもアルファベット
 Q7 モニター⇒牛 ワクチン⇒犬 こうえん⇒キツネ メニュー⇒(?) に入る動物は何?
 脳が固くなっている年寄りには、難解でしたが、いい脳トレになりました。今年参加されなかった方、来年お待ちしております。また、楽しいゲームを考えるそうです。 (答えは、10日のコードモンで)



《シリーズ「いきいき子育て」》 ~ 礼儀とマナー ~

「みっともないでしょう。はずかしいと思いませんか。行儀よく食べなさい。」「笑われますよ。あなたの食べ方は、礼儀知らずと思われまますよ。」これは、日本人の親が、あるレストランで子どもに話している言葉です。

「やめなさい。隣の人が、いやな思いをしますから、礼儀正しく待っていなさい。」「他の人に迷惑をかけるようなことはしてはいけません。食事のマナーを守りなさい。」これはイギリス人の親が子どもに話す言葉です。

日本人とイギリス人では、注意する言葉が違ってきます。日本人は、笑われてはいけない。イギリス人は、他の人の心をいやな思いにしてはいけない。ということになります。注意の仕方は違って、~自分の周りの人に不愉快な思いをさせない~ということでは同じです。

礼儀正しくすることは、教養が高くなり、しつけが行き届いたときにできるものです。約束ごとですから、約束した事柄を知らなければなりません。子どもの頃から、一つ一つ約束を覚えて、大人になるまでに全部覚え、それを日常生活の中で正しく実行させるのは親の役目です。

お知らせ

各学級の参観日・懇談会に、特別支援教育についての資料をお配りしています。担任からも説明がありますが、ご不明な点や気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

・・・7月10日(月)から 7月14日(金)までの予定・・・

- 10日(月) リズム遊び(3~5歳児) 防火ポスター写真撮影(4・5歳児)
教育委員(町長・副町長) 学校視察
- 11日(火) ひまわり組参観日・懇談会 *道教委視察
- 12日(水) あじさい組参観日・懇談会
- 13日(木) すずらん組参観日・懇談会 0歳ひよこ組懇談会
避難訓練
- 14日(金) 1歳児懇談会 発達支援事業 菅野養蜂場との交流(5歳児)



* 7月8日(土) 9日(日) 訓子府ふるさとまつり 3年ぶりに開催!

調子府町認定こども園の教育・保育指針

わくわく園だより No.15
R5年7月21日(金) 文責: 牧野

🍱🍱🍱「お弁当の日」🍱🍱🍱 ・お弁当の思い出

従来、空腹を満たし栄養補給のための携帯食であったお弁当が、近年、教育的効果も期待できるとされ、また、手作り弁当持参の理由では、「子どもの感性をみがく」、「人に喜ばれる」、「感謝の気持ち」など道徳教育にもよいとされています。これらのことから、幼児期のお弁当は、食の教育効果として期待ができ、食育推進の役割を果たすものと考えられています。

保育所、幼稚園時代の自身のお弁当に関する思い出について

調査した園がありますので紹介します。

～保護者のお弁当の思い出～

- たまに食べるお弁当は特別感があって楽しかった。母親がお弁当に入れてほしいおかずを聞いて入れてくれた。
- たまに食べるお弁当はうれしかった。
- いつもの給食と違った雰囲気新鮮だった。好きなものしか入ってなくて嬉しかった。
- 特別感があつた。みんな違って楽しかった。
- 友だちと先生とお弁当の中身について話をしたり、今日は何だろうとわくわくしながら食べることができた。
- お友だちと一緒にお母さんのご飯が食べられるので嬉しい。嫌いな食べ物や苦手な食べ物が少なく、食べることを強制されないからよかった。
- 毎日、給食だったため、たまのお弁当だと好きな物をたくさん入れてもらえた。など月に一度でも大変なのに、毎日お弁当づくりをしているお母さんもいらっしゃいます。私も退職してから5年間はお弁当でした。妻には本当に感謝しています。そして、給食のありがたみを心底実感しています。来月もよろしくお願ひします。



ヘルパンギーナ(夏風邪注意!) 明日からの夏休みを元気に過ごすために

5歳以下の子が感染するケースが多く、風邪によく見られる咳や鼻水の症状がありますが、あまり目立たないのが特徴です。夏バテで体力が落ちると病気にもかかりやすくなるので、お子さんには規則正しい食事と十分な睡眠を取らせることが重要です。全国的に流行しています。

▼ヘルパンギーナ▲

- 突然の高熱(38℃以上) ・口の中に水ぶくれができ、のどや口内が痛む
- 高熱が2~3日間続くことがある ・1週間程度で自然治癒する。
- *今のところ予防接種も特効薬もありません。

いっぱい食べて、いっぱい遊んで、いっぱい寝る。ことです。

◎感染予防のポイント? 手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防策です。

***元気に過ごすためには、早寝早起き、規則正しい生活が第一です。**

子どもの事故発生が一番多い月が7・8月です。交通事故、水の事故、それに熱中症も心配です。車の中に放置して亡くなる事故が多いのもこの時期です。出かけることが多くなります。くれぐれもご注意ください。



・・・7月24日(月)から 7月29日(金)までの予定・・・

- 24日(月) 夏休み開始 8月15日まで コドモン「今日のホワイトボード」は配信します。
1歳児「図書の日」
- 27・28日 全国国公立幼稚園・こども園研究大会(福岡大会) 硯見先生が参加します。
- 28日(金) 3施設(こども園・支援センター・児童センター) 合同研修会(職員)
- *3歳以上のコドモン配信は、夏休み期間中お休みさせていただきます。よろし